

単元名 修飾語を使って書こう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 主語と述語の関係, 修飾と被修飾の関係について理解することができる。  
(3) 修飾と被修飾の関係について理解しようとし, 言葉の役割や性質を捉え直そうとする。

標準的な展開例

03010207\_001

【教材名】修飾語を使って書こう (下 P. 29～P. 31)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 修飾語の働きや使い方を理解する。 ★修飾語について知ろう。 ○主語と述語について既習の内容を確認する。</p> <p>○教科書(P. 29～30)を読んで, 「修飾語」について知る。</p> <p>2 修飾語について, 理解していることを確かめる。 ★修飾語を使って文を書こう。 ○修飾語の働きについて確認する。</p> <p>○教科書 (P. 31) の問題に取り組む。</p>	<p>・主語と述語だけでは様子がよく分からないことに気付かせる。</p> <p>・修飾語を付け加えることで, 様子が分かりやすくなっていくことを理解させる。</p> <p>・教科書から取り上げた一文を示し, 主語・述語・修飾語に分けさせる。 【評】文を主語・述語・修飾語に分ける活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・「いつ」「どこで」「だれが」「どんな」などのヒントを提示し, 参考にさせる。 【評】修飾語の働きを理解して, 修飾語を付け足す活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】